

# 地下水・雨水等流入量及び貯蔵量増加量の 評価見直しについて

2018年03月01日

**TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

0

## 概 要

**TEPCO**

- 1～4号機建屋、プロセス主建屋、HTI建屋等への「地下水・雨水等流入量」評価及び汚染水の「貯蔵量増加量」評価について、以下の①②の通り変更・修正を行う
  - ① 2017年12月25日にタービン建屋水位を最下階中間部以下に低下後、複数の残水エリアを確認している。このうち、3号機コントロール建屋については、1月16日の排水開始後に水位上昇を確認したことから、地下水流入量の評価対象に含める変更を行う
    - ✓ 1日あたりの地下水流入量は、約10m<sup>3</sup>
  - ② 『廃炉・汚染水対策チーム会合 事務局会議（第50回）』（2018年2月1日開催）で示した「貯蔵量増加量」評価において、SARRY逆洗水を「貯蔵量増加量」に加味していたことが誤りであり、修正を行う
    - ✓ H29年平均237m<sup>3</sup>/日を235m<sup>3</sup>/日へ修正
    - ✓ SARRY逆洗は、SARRY処理後のSPT（B）の水を用いてSARRY吸着塔を逆洗し、プロセス主建屋へ排出するため、「貯蔵量増加量」に加える必要はない

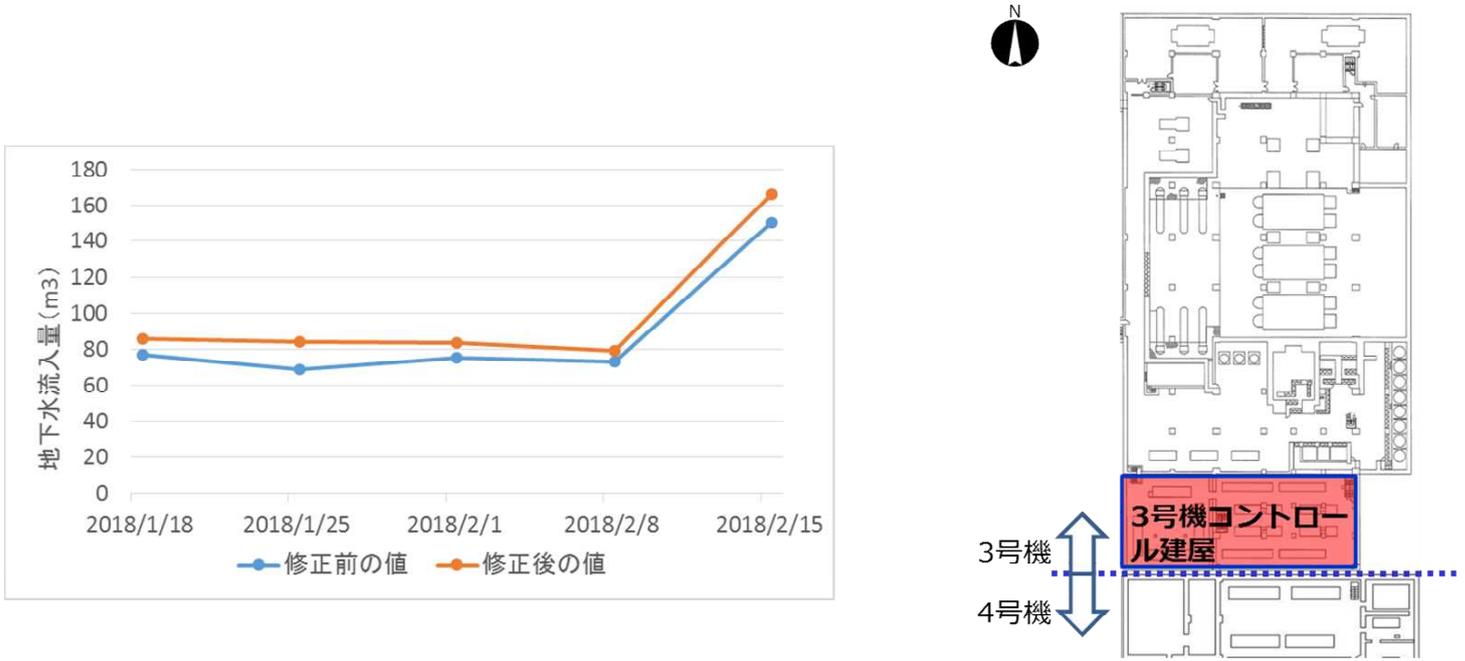
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1

# ① 「地下水流入量」 評価の変更について

- 2017年12月25日に2～4号機タービン建屋最下階中間部を露出させた際に、一部エリアに汚染水が残ることを確認した。
- これらのエリアについては地下水・雨水等流入量評価の対象外としていたが、3号機コントロール建屋については、1月16日の排水開始後に水位上昇を確認したため、地下水評価対象に含めることに方針を変更する。
- 3号機コントロール建屋の地下水流入量を加えると、5週間の平均で約10m<sup>3</sup>/日の増加となる。



# ② 「貯蔵量増加量」 評価の修正について

## 【修正内容】

- SARRY逆洗は、SARRY処理後のSPT (B) の水を用いてSARRY吸着塔を逆洗し、プロセス主建屋へ排出するため、「貯蔵量増加量」の算出に不要であり削除
- SARRY逆洗水を削除した結果、平成29年平均の貯蔵量増加量は237m<sup>3</sup>/日から235m<sup>3</sup>/日に変更

【『廃炉・汚染水対策チーム会合 事務局会議（第50回）』資料抜粋】

【見直し後の算出方法】

$$\begin{aligned}
 (\text{貯蔵量増加量}) &= (\text{地下水・雨水等流入量}) + (\text{その他移送量}) - (\text{ALPS薬液注入量}) \\
 &= (1\sim 4\text{号機滞留水増減量} + \text{集中ラド滞留水増減量} - \text{原子炉注入量} - \text{その他移送量} + \\
 &\quad \text{ポンプ移送量}) + (\text{その他移送量}) + (\text{ALPS薬液注入量})
 \end{aligned}$$

【参考】

$$\begin{aligned}
 (1\sim 4\text{号機滞留水増減量} + \text{集中ラド滞留水増減量}) &= (\text{滞留水流入量}) - (\text{滞留水流出量}) \\
 &= (\text{原子炉注入量}) + (\text{その他移送量}) + (\text{地下水・雨水等流入量}) - (\text{ポンプ移送量}) \\
 \text{その他移送量内訳} &: \text{「マスク洗浄水, ラボ廃液」, 「オヘフロへの散水」, 「SARRY逆洗水」, 「ウエル移送量」等}
 \end{aligned}$$

朱書き：【算出に使用】

名称	H29年平均 H29.1.5集約 ~ H29.12.28集約
貯蔵量増加量 (見直し前)	220m <sup>3</sup> /日
貯蔵量増加量 (見直し後)	<b>235m<sup>3</sup>/日</b>

※「貯蔵量増加量」の2017年12月から2018年1月までの平均値は、見直し後で約140m<sup>3</sup>/日である。